



小尾秀夫*

人と環境に優しい交通システムへの取り組み

Passenger and Environment Friendly Transportation System

Hideo Obi

要 旨

社会インフラの根幹に位置付けられている交通システムにおいては、その基本である安全性・信頼性の更なる向上とともに、少子高齢化や地球環境問題への対応、利用者利便性の一層の向上など現代社会が求める新しいニーズに的確にこたえていくことが重要な課題となっている。

三菱電機は“ Better Mobility ”を交通事業のスローガンとして、“ 世界No.1の車両用電機品メーカー ”を目指すとともに“ 次代をになう交通システムプロバイダー ”として社会に貢献するために、車両システムを基幹製品とし、電力システムや総合指令システム、駅システムについても豊富な実績を積み重ねてきた。

これらシステム・製品の開発にあたっては、旅客サービスソリューション“ ユニバーサルデザイン ”と、社会サービスソリューション“ エコロジー ”を念頭に、人と環境に優しい交通システムの構築に取り組んできた。

“ ユニバーサルデザイン ”の観点では、障がいを持たれる方や高齢の方々も健常者と同じように利用できる交通システムの実現を目指し、駅構内の移動時や列車内での適切な案内システムを提供するとともに、ホーム旅客の安全を確保するための各種システムを開発している。また、ダイヤ乱れなどの異常時に対応し、異常の早期回復と旅客への的確な情報提供を行うシステムも提供している。

“ エコロジー ”の観点では、車両搭載製品の小型軽量化や低騒音化、回生電力の有効利用や省エネルギー技術の適用と新エネルギーの利用など、新たな要望にこたえられるよう車両・電力設備・情報通信で総合的なソリューションを提供している。

本稿では、鉄道システムを構成する様々なシステムの分野における“ ユニバーサルデザイン ”と“ エコロジー ”への当社の取り組みと将来展望について述べる。



人と環境に優しい交通システムへの取り組み

車両システム、電力システム、総合指令システム、駅システム等、鉄道システムを構成する様々なシステムの分野において、“ ユニバーサルデザイン ”と“ エコロジー ”を念頭に、安全・安定輸送の確保に向けて技術革新を図っている。